

としよかん宇治

No. 24

1991年7月1日発行
宇治市中央図書館
宇治市文化センター内
▽611
宇治市折居台1丁目1番地
電話 (20) 1511

平成2年度

貸出冊数

図書館利用統計



■ 1年間の総貸出冊数

543,448冊

■ 移動図書館の貸出冊数

69,575冊

■ 中央図書館の貸出冊数

473,873冊

■ 中央図書館開館からの
累計貸出冊数
(59年度以降)

3,079,402冊

蔵書冊数

125,178冊



図書館指標

市民1人当たりの貸出冊数	3.1冊	(平成3年4月1日 人口 177,669人)
登録者1人当たりの貸出冊数	21.3冊	(平成2年度図書購入費 18,782,777円)
市民1人当たりの図書購入費	105.7円	(平成2年度年間受入冊数 12,457冊)
市民100人当たりの年間受入冊数	7.0冊	(平成3年3月30日登録者数 25,540人)
登録率 = $\frac{\text{登録者数}}{\text{人口}} \times 100$	14.4%	

* 登録者数とは、平成2年度中に1冊以上貸出を受けた実質登録者数です。

本を選ぶ (一般書の選書)

— 図書館の仕事シリーズ④ —



図書館の書架には、たくさんの本が並んでいます。どの様に選ばれているのかなあと、思っておられる方も多いことでしょう。

そこで、主に一般書について、選書から配架までの流れをご紹介します。

図書館の本を選ぶ仕事は、その図書館を内容面から一歩一歩築いていくたいへん重要でむずかしいものです。そのため職員全員が参加して行なっています。

選書にあたっての主なポイントをいくつかあげてみましょう。

一、多くの人に利用されそうな本を選びます。読書を楽しみ、何かおもしろい本がないかなと図書館にこられる方にお応えできる様に、小説や話題の本を幅広く選びます。

二、各分野での基本的な本を選びます。これは、生活に役立てるために、また調べ物のために目的をもって図書館を利用される方に必要と思われる本です。あるテーマについてさまざまな見解の本を集め、また分野全体にバランスが

とれているかにも注意します。法律改正など、情勢の変化にもすばやく対応し、常に新しい情報提供を心がけて選書しなければなりません。一方、時代を越えて評価の定まっている基本的な本がもれていないかのチェックも必要です。また、当館では、現在コミックは蔵書対象外になっています。他に、ポルノ、高価すぎる本、高度な専門書、基本的人権を損なう内容の本、学習参考書、問題集など、当館の蔵書としてふさわしくないと考えられるものは除いて選んでいます。



選書の方法は、毎週発行される新刊案内によって行い、全体の合意の上で発注します。

注文は、図書納入組合に出しますが、加工等は、図書館の本を専門的に扱う会社が担当します。

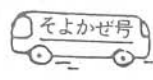
そこでは、本の確保、カバー貼り、ラベル貼付などすべての装備、図書データの作成など図書館の本として必要な処理を受けもっています。これらが完了するといよいよ図書館に本が届きます。

届いた本は、検収といって、注文通りの本か、装備にまちがいがいか、落丁、破損がないかなどの点検をし、内容も確認します。こうして、ようやく一冊の本が図書館の蔵書としてデビューすることになるのです。

私たちの悩みは、図書の現物をみて選べないこと、発注から納入まで日数がかかりすぎることで、品切れ等で入らない本があり、シリーズが欠けたりすることです。

さて、選書について大切なことは、まず職員が本を選ぶ目を養うこと、日頃からカウンターなどで利用される本の様子や利用者の声を十分把握して反映させていくことだと思えます。皆様からのご意見もお気軽にお寄せください。

はしれ! そよかせ号
「お母さんにつ
れられて絵本を
かりていたあの
子、このごろ見
ないね。」
「でも、かわり
に又、小さいお客さんが、ホラ」
年齢歳歳 花相似たり
歳歳年年 人同じからず



変化の多い時代にあって、もの
考え方を育ててくれるのは本。
本を読めばすぐ何かの役にたつ
という事もないし、面白い本ばか
りじゃないのも事実です。本に
書いてある事がみんな本当とも限
らない。それでも本は読まないよ
り読んだほうが、いいような気が
します。

日本人は公共施設を使うのが下
手だといえます。本を借りて読む
より買って溜め込む習性があるそ
うです。図書館ってめんどうくさ
いと思う人も多いけれど慣れてし
まえば何でもありません。こんな本まで
と思う様な高価な本、高級な本、
くだらない? 本、いろいろ揃って
います。どうぞそよかせ号を行き
つけの書齋にしてください。でも、
そよかせ号の限られた本が図書館
のすべてだと誤解されぬ様、サー
ビスを充実させながら分館建設へ
と願いつつ今日も走ります。

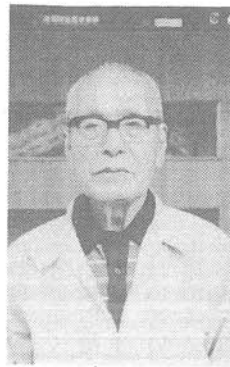
図書館へようこそ

利用者インタビュー

第12回

土屋庄造さん

今回の『図書館へようこそ』は菟道荒植にお住まいの土屋庄造さん(八十二歳)をおたずねしました。



☆いつ頃から利用されていますか。
市民図書室の時代からの利用で、五年前からは利用した日と借りた本を記録しています。今の図書館は前にくらべて本の種類が多く、嬉しいですね。月に二回ほど利用し、一回に約二冊借り、その本は完読するようにしています。
☆読む本の選び方は……。
私はまず「今日帰った本」の書架を見るようにしています。以前

は落語、狂歌、古文書に関する本を読んでいたが、今は、他の人がどんなものを読んだかを参考にして選んでいます。分類九一七(風刺、ユーモア)の本はよく読みます。そのようにして感動する本に出会い、生活に活力が生まれました。また、最近よく出てくるカタカナ語はメモしておき、参考資料室で調べるようにしています。それで孫とも、いろんな話ができるようにになりました。
☆図書館の本について、ご意見をどうぞ……。
大ききの違う本が書架に並んでいると少し見づらいですね。

☆図書館へは何で来られますか。
いつも健康のため、四十五分ほど歩いて行きます。文化センターに着くと、まず歴史資料館で展示を見て、図書館では本の他に地方新聞をまとめて読みます。職員の人とはとても親切ですね……。
☆土屋さんが本を読まれるようになったのはいつ頃ですか。
七十二才まで私は会社人間でした。その時、自分は社会的に知識が狭いように感じ、常識を広めたいと思って本格的に本を読むようになったんです。それで図書館は本当に重宝しています。
☆どうもありがとうございました。

図書館協議会

新委員決まる

平成三年度からの宇治市図書館協議会の委員が決まりましたのでお知らせします。
図書館協議会とは、図書館法第十四条に基づいて設置するもので、図書館運営についての要望や意見をのべていただいたり、館長の諮問に答えていただく機関です。委員の任期は、二年間です。

- ・ 一号委員 佐藤雪枝 (敬称略)
- ・ 二号委員 福山一男
- ・ 三号委員 前川桂子
- ・ 四号委員 池本 甫 (会長)
- ・ 五号委員 永野玲子、青木次彦、磯貝潤子

とすほす

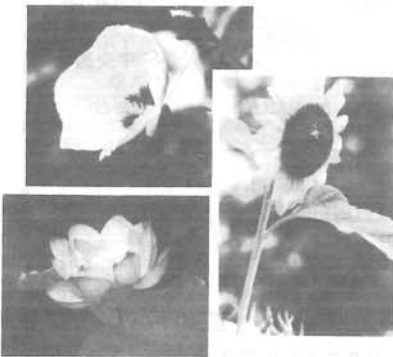
そよかせ号利用者

木村哲夫さんからの手紙

そよかせ号では、何時もステップのお世話になり、ありがとうございます。皆様のお蔭で、障害の身でも安心して本を借りに行けることを喜んでいきます。

そのお礼にと言うのも恥ずかしく、失礼かもしれませんが、趣味で写している花を写真集「花言葉」にまとめてみました。「本物はもっと美しいです。」と花達の声が聞こえそうな写真ですが、休み時間にも皆さまに見ていたければ嬉しく思います。これからも色々とお世話になる

ことと申しますので、よろしくお願ひ申し上げます。
宇治市木幡花揃 木村哲夫



(写真集「花言葉」より)

郷土のはなし

二尾の一ツ井

宇治の東南の山間に、二尾と言
う集落があります。この集落に一
ツ井と呼ばれる井戸があり、かた
わらに弘法大師が作った、といわ
れる石仏があります。この井戸は
別に弘法の水ともいわれています。
弘法の水と呼ばれる井戸や泉は、
全国各地に多くありますが、近く
では、池尾の戌ノ泉や宇治田原町
高尾の金井戸があります。
ところで、弘法の水にはいろい
ろな伝説があります。池尾の戌ノ
泉には、次のような話が伝えられ
ています。

弘法大使が修行のため、犬と
ともにこの地を訪れたとき、
急に犬が病気で倒れ、水を欲
しがりましたが、近くに水場
がなかったため、大師が杖で
道端の地面を突き、水を湧き
出させ、この水を犬に与えて
元気にさせました。
というのです。また、高尾の金井
戸には、次のような伝説がありま
す。
弘法大師が田原を訪れたとき
のどが渴いたので、民家に水

を求めたところ、その家の
人が、あまりにも身なりが汚
いので、水を与えませんでした。
次に大師が高尾へ行って
水を求めたところ、水が少な
いにもかかわらず、貰うこと
ができました。弘法大師がそ
のお礼として、ここに井戸を
作り、この井戸が金井戸であ
る。

というのです。

二尾には、このような話が伝え
られていませんが、古くは弘法大
師にまつわる話があったかもしれ
ません。二尾・池尾・高尾は、い
ずれも高地にあり、水が乏しかっ
たと考えられます。そこで弘法伝
説と結びつけて、水の大切さを教
えたのでしょう。

一ツ井は、今ではポンプで水を
汲み上げていますが、二尾の人々
にとっては、貴重な水であること
は、今も昔も変わりありません。



枯れることのない一ツ井

編集後記

▼ 六月初旬には、第一回蔵書特別整理のために休館致しまして、ご迷惑をかけました。
▼ 今号では、一年間の利用統計をとりあげましたが、数字では計れないものに利用者層の拡がりがあります。仕事に直結した資料を求める社会人や、レポートの参考資料を捜す大学生等々。広範な利用者にとって「役に立つ図書館」でありたいものです。

本をかりるには

(中央図書館の場所)

一 利用案内

- 市内にお住まいの方、市内に通勤通学されている方ならどなたでも1人5冊、かりられます。
貸出券は、中央図書館・移動図書館の共通券です。

中央図書館

- 貸出期間は、3週間です。
開館時間は、9時～17時です。
休館日は、毎週月曜日・毎月末日
国民の祝日・年末年始
土曜・日曜もあいています。

移動図書館〔そよかぜ号〕

- 月に市内25カ所を巡回しています。
日時・場所は、毎月1日号の市政だより「そよかぜ号」巡回日程をご覧ください。
次回巡回日に返却して下さい。



JR 宇治 京阪宇治 または 近鉄大久保 から 「太陽が丘」 行バス乗車 「折居台口」 バス停 下車すぐ



予約・ リクエストもできます。